

下水道ってどんなもの？

▶問い合わせ
下水道課
☎0287(37)8479

下水道財政のしくみ

市の会計には、多くの市民に関わる事業を行うための一般会計と、特定の目的の事業を行うための特別会計があります。一般会計は税金、特別会計は使用料などが主な財源となっています。

下水道は、特定の地域の人だけが利用できる施設であるため、特定の支出を特定の収入でやりくりする特別会計を設けています。

汚水と雨水

下水道は、生活で発生する汚水を集めるだけではなく、雨水を安全に排除する役割があります。

特に都市部では、雨水が地面に浸透しないため、道路や街の排水のために雨水用の管が敷設された地区があります。

事業費のうち、自然現象である雨水の処理は公費(税金)で、汚水の処理は下水道使用者が支払う私費(下水道使用料)で賄うことを原則としています。

則としています。

しかし、現在下水道使用料で汚水処理費用のすべてを賄えていないため、不足分を公費(一般会計繰入金)で補ってんしています。



一般会計繰入金

一般会計繰入金は、「基準内繰入金」と「基準外繰入金」の2つに分けられます。

「基準内繰入金」は、雨水の処理や、下水道整備のために借りたお金の返済(資本費)など、公費で賄う部分として国の基準が定められているものです。

一方「基準外繰入金」は、汚水の処理など、本来下水道使用者が支払うべき費用の不足分を税金で補てんするものです。つまり、下水道が整備されない地区の人も、費用を負担している状況なのです。

汚水処理にかかる費用は私費で賄うことが原則ですので、基準外繰り入れが生じている状況を解消する必要があります。

不足する下水道使用料

下水道使用料は、汚水処理にかかる費用を、汚水を排出した人に負担してもらうものです。下の図の維持管理費と資本費の基準外繰入金は、下水道使用料の不足を示しています。

汚水処理費を下水道使用料で賄うだけ賄えなさを「経費回収率」といいますが、現在市の経費回収率は89.2%と、約1割分が不足している状況です。

基準外繰り入れが生じている状況を解消するためには、この「経費回収率」を上げる必要があります。

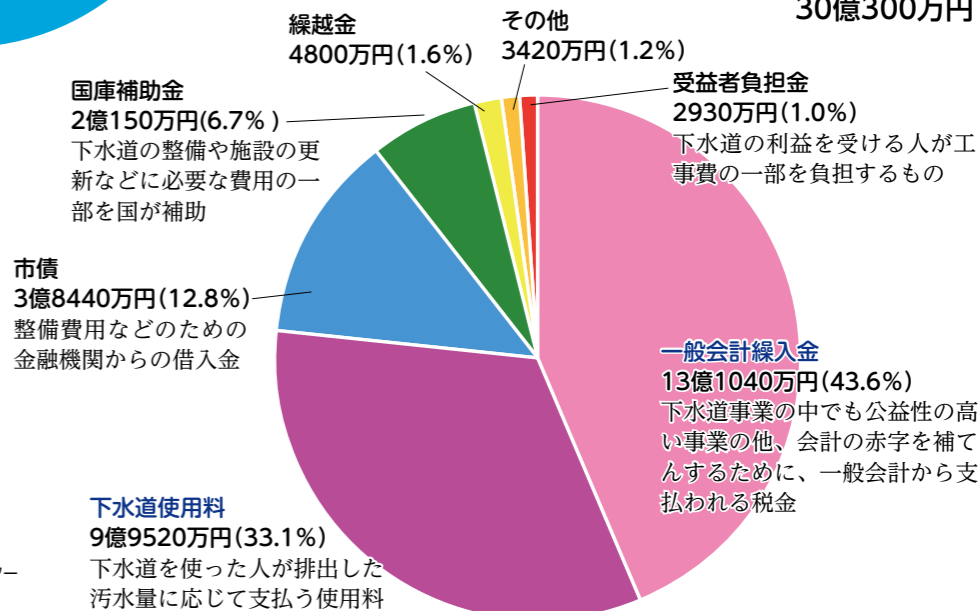
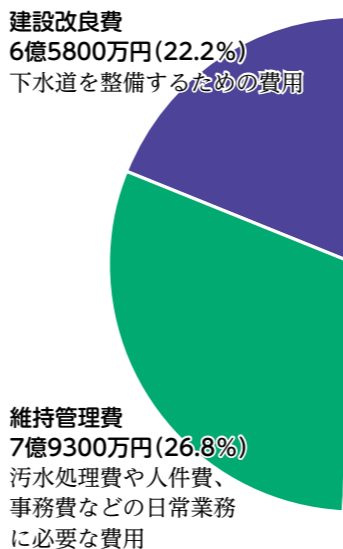
収入の収納

下水道事業の収入のうち、下水道使用料と受益者負担金は、皆さんに支払ってもらっている収入です。事業を進めるための大切な財

歳入総額 30億300万円

平成28年度 事業費内訳

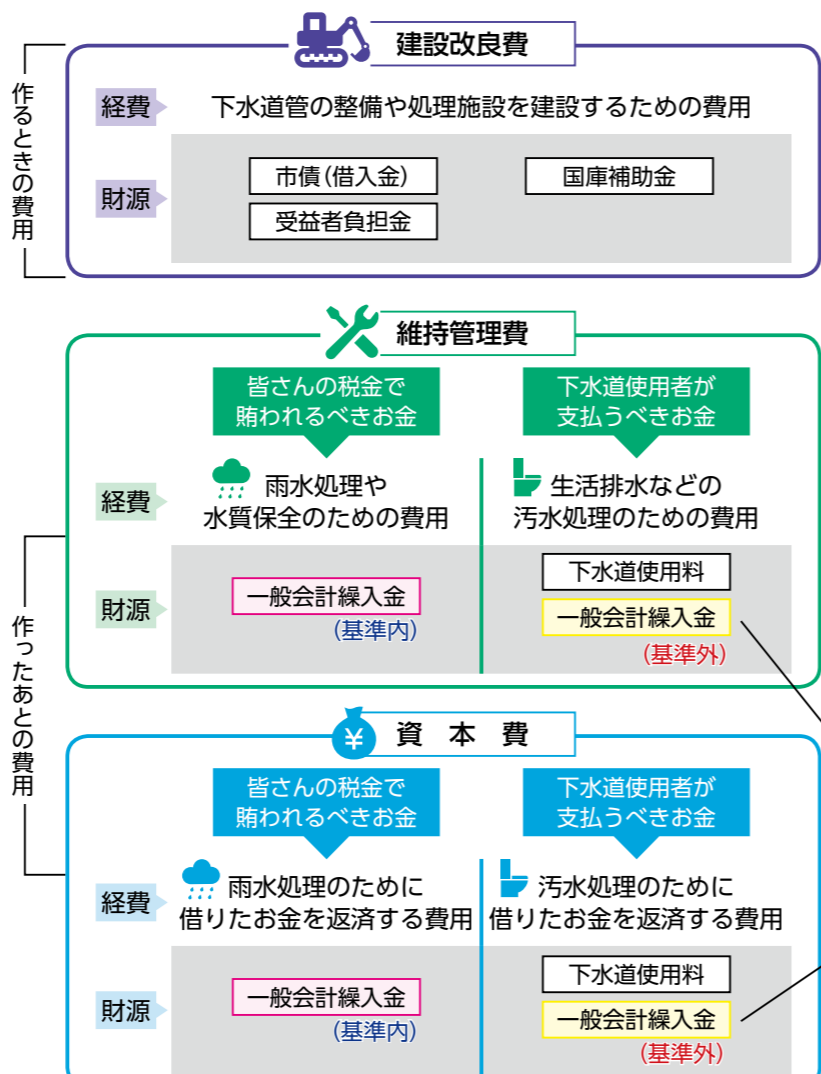
歳出総額 29億5800万円



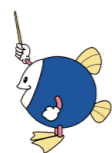
基準外繰入金っていうのは、下水道使用料だけでは賄えない分を負担している税金のことだよ



下水道事業の経費とその財源



スuisuiの「これ、知ってる?」



「下水道の日」って知ってる?

毎年9月10日は「下水道の日」なんだよ。昭和36年に下水道の普及のために始まったんだ。この日を中心に、全国の自治体で普及活動イベントなどのいろいろな催しをやっているんだよ。

ほかにも、主に小学生から中学生を対象にした作文やポスター、新聞などを募集する「下水道いろいろコンクール」もあるんだ。那須塩原市のみならず応募してね。

なんで9月10日かという、下水道の役割の一つである「雨水の排除」にちなんで、台風シーズンを過ぎた(立春から数えて)220日が選ばれたんだ。

「下水道の日」には、家族みんなで楽しく下水道のことを知ろう!

9月10日は下水道の日



分流式と合流式

下水道には、汚水と雨水を一緒に集めて処理する「合流式下水道」と、汚水と雨水を分けて集める「分流式下水道」の2つがあるんだ。

那須塩原市では、「分流式」を採用しているよ。「分流式」は、処理の必要のない雨水はそのまま放流するから、「合流式」より汚水処理のコストがかからないメリットがあるんだ。

◆次回の「那須塩原市の下水道」は、これからの下水道経営についてお知らせします。